第129回理学部コロキウム

リモートセンシング：自然を、社会を知るツール

ー地球の 今 をあなたに伝えますー

一般財団法人　リモート・センシング技術センター
つくば事業所 ALOS系解析研究グループ　山之口　勤

日時：1月25日（水）16:30～17:40（紹介・質疑応答含む）

オンラインZoom （教職員・学生の皆さんにはミーティングIDとパスコードを別途お知らせします

「リモートセンシング」とは、「遠隔探査」と訳され、離れたところから物体の状況を知る手段として定義されます。近年人工衛星リモートセンシングは、世界的にみてもソフト・ハードの両面から急激なイノベーションが起きており、専門家の手を離れ、誰でも気軽にアクセスできるインフラへとなりつつあります。また、ドローンを用いたリモートセンシングも大変盛り上がってきており、これらを融合した実利用（農業、建設業、インフラ監視等）もツール化が進んでいます。

今回の講演では、リモートセンシングがどのような分野で利用されているのか、自然科学の分野、実利用の分野それぞれについてお話できればと考えております。また、私の普段の業務であるJAXAの人工衛星に関する仕事のお話にも触れたいと思います。

問い合わせ先：井筒ゆみ (izutsu@gs.niigata-u.ac.jp)